

しのぶ草



平成 25 年 5 月 17 日 発行

発行：宮崎市教育委員会

宮崎市きよたけ歴史館

所在地：宮崎市清武町加納甲 3378-1

TEL0985-84-0234 FAX 0985-84-2634

《安井息軒旧宅等で学習》

4月12日、宮崎学園短期大学の学生20名が、安井息軒旧宅や「佐代夫人供養塔」の前で、息軒先生のご夫人である佐代さんの生涯について学習しました。旧宅では、森鷗外著の『安井夫人』をもとにしての講義を聴きました。



学生の皆さんは、佐代夫人を知ること、息軒先生についても理解を深めることができたのではないかと思います。

また、宮崎国際大学の学生が、4月11日に20名、12日に16名で当館を訪れ、息軒展示室や考古展示室を見学して学習しました。

今回の学習を機に、今後も学生の皆さんに来館してもらい、息軒先生や、佐代夫人、清武の歴史などについての知識を、更に広め深めていただくことを期待します。



また、学習を通して学生の皆さんの今後の人生の処し方にも、大変良い影響を与えることでしょう。

★ 講座のご案内 ★

◇「宮崎三計塾」①

日時：平成25年6月9日(日) 午前10時～正午
場所：きよたけ歴史館(研修室)
講師：宮崎市教育委員会文化財課 主査 井田 篤
内容：「息軒の眼に映った江戸から明治へ変わるトキ」

◇「きよたけ歴史講座」②

日時：平成25年6月15日(土) 午前10時～正午
場所：きよたけ歴史館(研修室)
講師：宮崎市教育委員会文化財課 主査 井田 篤
内容：「古代の清武」

※当日も受け付けています。お気軽にお越しください。

宮崎の縄文遺跡紹介⑥

豊かな縄文文化を襲ったアカホヤ火山灰

縄文時代早期(約10000年前～6000年前)の南九州の縄文文化は他の地域に比べて、進んでいたことがこれまでの発掘調査の成果からわかっています。なぜなら他の地域では縄文後期(約4000年前～3000年前)にならないと見られない壺形土器がすでに早期の段階で使用されていることや装身具や祭りの跡なども多く見つかっているからです。

清武町の船引地区遺跡群の縄文早期の発掘調査でも壺形土器は出土しており、なかでも山田第1遺跡では多くの土器のかけらが出土した土坑が発見され、その土器のかけらを接合した結果、完全な形の壺形土器に復元することができました。

しかし、この豊かな南九州の縄文早期の文化に突然悲劇が訪れます。約6300年前に屋久島の北側にある鬼界カルデラと呼ばれる海底火山が大噴火を起こしました。この噴火で降り積もった火山灰はアカホヤと呼ばれており、この火山灰は遠く東北地方でも発見されています。宮崎平野部でも被害は甚大だったと考えられ、船引地区遺跡群の調査でも現在の地面の下にアカホヤ火山灰が30cm以上堆積していることが確認されています。

発掘調査では遺物が出る地層を上から下へと掘り下げていきます。その作業の中でアカホヤ火山灰が見つかったら、噴出した年代がはっきりしているため、アカホヤ火山灰層の上から出土したものは縄文前期以降のもの、下から出土したものは縄文早期以前のものと判断することができます。



山田第1遺跡出土 壺形土器

あると判断することができます。

このように南九州地域に大きな被害をもたらした火山灰ですが、発掘調査や考古学の研究において出土遺物の時代を決定するのに役立っているのです。

(文責 秋成)